

# 跳びはねてもいい音楽会

琉球フィルハーモニックオーケストラによる  
第5回「美らサウンズコンサート」  
記録&つくり方

## 跳びはねてもいい音楽会

琉球フィルハーモニックオーケストラによる  
第5回「美らサウンズコンサート」  
記録&つくり方

ゆいまーるミュージックプロジェクト

一般社団法人CoArによる、  
今回のコンサートに対する  
評価調査結果。 [>](#)



文化庁  
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS





## ゆいまーるミュージックプロジェクトとは

「イベントは楽しみにしてるけれど、てんかん発作は予期できないから、やっぱり行かないでおこうかなっていう葛藤は毎回あるんですね」  
息子が難病であるひとりのお母さんは、屈託のない表情で話してくれました。  
「だけど、美らサウンズコンサートではそんな思いがありません」と。

難聴の人、目が見えない人、難病の人、自閉症の人、  
車椅子やストレッチャーとともに生きている人、知的障害の人、  
発達障害の人、認知症の人、小さな子ども…。

美らサウンズコンサートは、身体が動いたり、声が出る人も、  
どんな人も気軽に参加できる音楽会です。

その環境をつくるために結成されたプロジェクトチーム。

想いを全国に広げることをめざしています。



# 美らサウンズコンサート 2023 in 宮古島

ゆいまーるミュージックプロジェクト

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





前列の座席を取り外し、マットを敷きます。



「宮古民謡をオーケストラで聞けてよかったです!」と来場者。

「指揮者体験をしたい人は?」に元気づけ手を挙げた女の子。



# 公演までの流れ

5カ月前

## 初の離島公演に向けて

- 音楽や福祉の専門家などの他、宮古島在住の安田澄江さん(P11)を加えたプロジェクトチームの立ち上げ
- プロジェクトチームでの情報交換にSNSグループなどのツールを活用
- プロジェクトチーム第1回ミーティング
- 演奏者、司会者へのオファー
- 公演会場の決定

3~4カ月前

## どんな曲目を届けるか

- 出演者、ゲスト、司会者、開催プログラムの決定
- ボランティアスタッフ募集
- 地域の消防署に概要を伝え、当日の救急要請に備える
- 医療関係者(介護士、看護師)などに協力依頼
- ポスター、フライヤーの作成

3カ月前

## コンサートの告知と、実施シミュレーション

- コンサートの告知、プレスリリース
- 予約開始
- 会場の下見、実施シミュレーション
- 会場の機材の搬入搬出や、入場者の出入り口を確認
- 備品、スタッフの動線を確認
- 会場トイレなどバリアフリー状況を確認し、対応策を講じる

2カ月前

## 事前予約時に、障害種が把握できるようにする

- 予約状況の確認
- 来場者の障害種の把握(特記事項などの確認も)
- ボランティアの役割分担の決定
- 広報状況の確認(フライヤー配布先の在庫確認も)

1カ月前

## 車イスやストレッチャー、ベビーカーなどの数や予約状況をもとに動線を確認

- アンケートの質問内容を決定
- 予約状況をもとに動線を確認

リハーサル

## オーケストラ演奏者に、障害の特性についてレクチャー

- 会場設営
- ボランティアリーダーとの打ち合わせ
- 施設にない設備をレンタルしている場合はその対応
- 演奏リハーサルで、音響や舞台設営を確認
- オーケストラ演奏者に、障害などの特性による反応の違いについてレクチャー

当日

## 来場した人がはじめに会うのはボランティアスタッフ。笑顔で迎える

- ボランティアリーダーはボランティアと協力しながら対応する
- 受付で予約を確認し、障害の種別に応じた対応をする

コンサート後

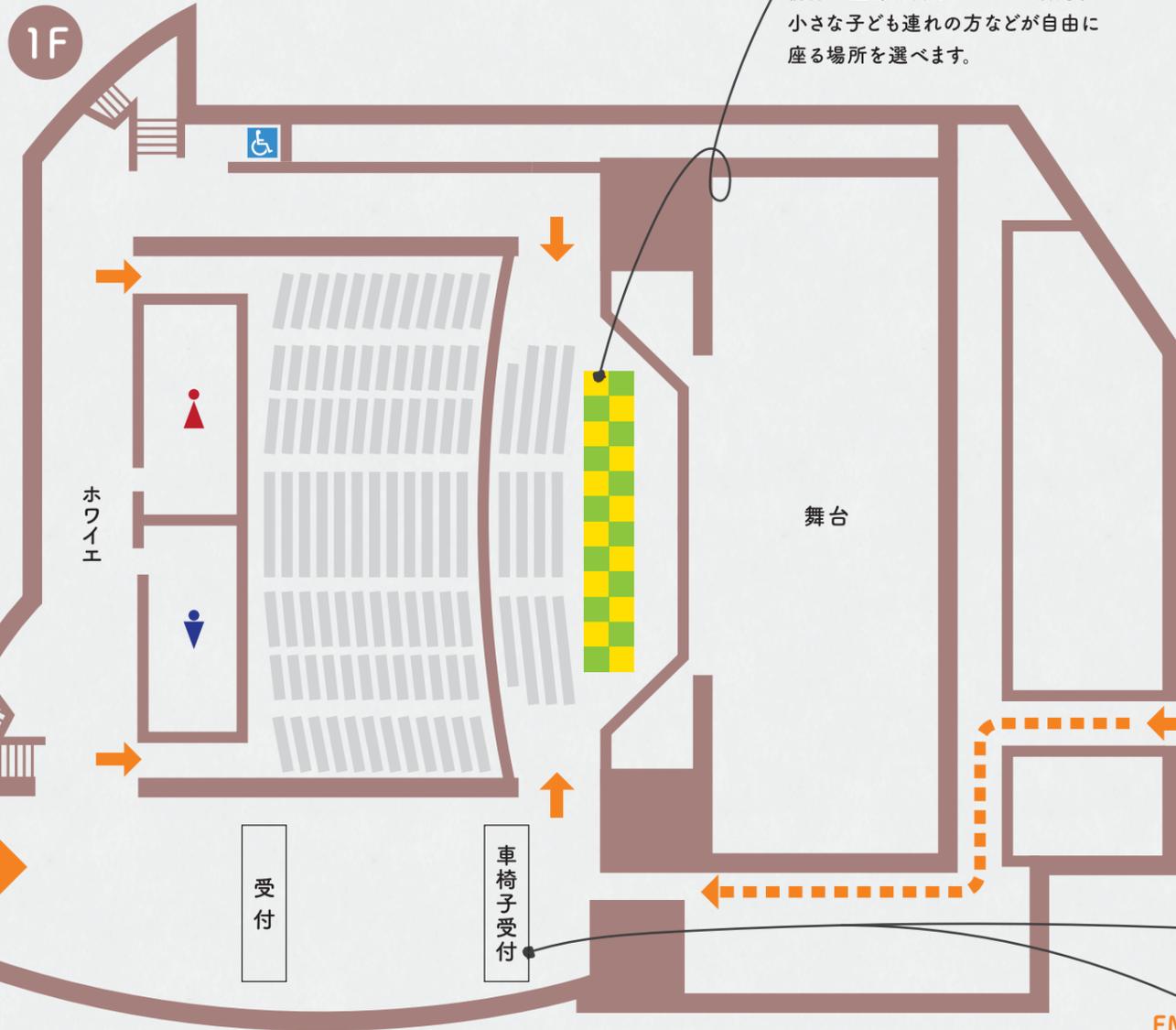
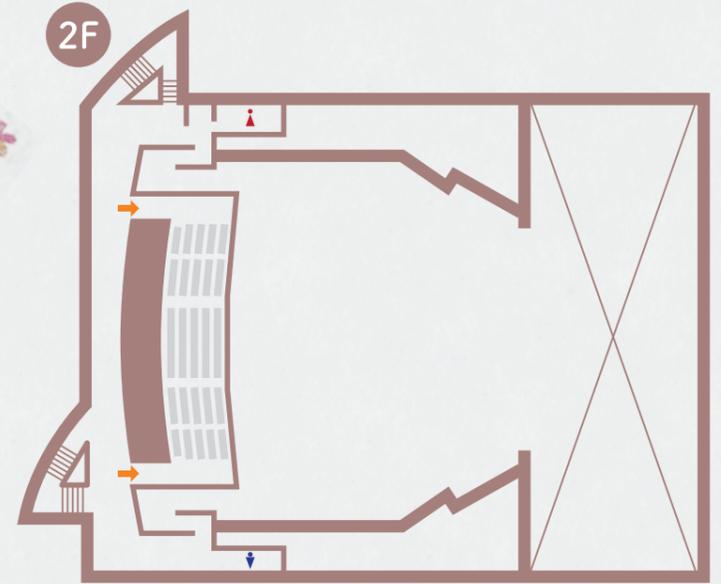
## 振り返って、次につなげる

- 広報、会場、演奏者、プログラム内容、ボランティア、報道など、コンサートの振り返り
- アンケート回答の分析



会場はマティダ市民劇場。

初めての離島での開催となりました。



前方の座席を外してシートを敷き、小さな子ども連れの方などが自由に座る場所を選べます。



写真に写りたくない人には「撮影NGリボン」を配布。



車椅子で来場される方の介助ができるスタッフを配置。

呼吸器などのための電源確保。



スムーズに入場していただくため、受付はQRコードを活用。

手をつないでおく必要がある人がいるので、受付が終わってから会場に入る直前にプログラムやアンケート用紙を手渡します。



### FM補聴支援システム

最新のFM補聴支援システムをモニター使用提供という形でご協力いただきました。電波法で定められた福祉電波を使用し、来館された聴覚障害者の方々にヘッドフォンやお手持ちの補聴器を使って場内の音声をクリアに聞いていただくシステムです。機器以外にほとんど工事の必要がないためコスト効率に優れています。



車椅子入口

楽器などの搬入用の入口があり、大型車を止めやすく、またスロープなどが利用しやすく便利。



### 手話通訳のほかに、UDトークも

UDトークはコミュニケーションのUD（ユニバーサルデザイン）をサポートするアプリで、視聴覚障害間や多言語コミュニケーションなどに用いられています。当日のプログラムに、UDトーク表示用のQRコードを掲載。手話通訳とUDトークアプリを選択できるようにしました。



# ボランティアスタッフ体制

第1回コンサートで「指示系統がはっきりしない」「ボランティアはどこからどこまでやればよいのか?役割分担が不明確」という課題が上がり、体制を整えました。



## 統括&舞台監督



## ボランティア統括



## 事務局&会場・受付統括



## ボランティアの役割

### 駐車場案内係

車椅子専用の駐車場と一般の駐車場を分け、道沿いで案内係を1名配置(リーダー)。有償ボランティアの高校生には一般駐車場の空きスペースの案内を。一般駐車場はどこからでも入ることができる状況だったので、急遽ヘルプのボランティアに入ってもらいました。



### 車椅子での来場者の誘導係

車椅子入口外にリーダー1名、車椅子入口内にリーダー1名、学生ボランティア2名配置。介助は同行している介助者が行っていたので、ボランティアは会場内への誘導。



### ボランティアリーダー

障害児・者に関わった事のある方、学生ボランティアへ指導助言ができる方で、信頼関係のある方に依頼。(特別支援学校教諭4名・特別支援学校元PTA会長、現地スタッフ)。コンサート前日に打合せを行い、当日のスケジュールや配置、動き、現場を確認しました。



### 車椅子受付

今回は車椅子入口に専用の受付を設置したことで、入館→受付→席案内がスムーズでした。車椅子入口からの入館は1団体約60名。団体職員が利用者さんをサポートしやすいように受付直後に1箇所にとまった席を確保し、着席がスムーズ。特別支援学校卒業生のボランティアが赤リボンの案内やアンケート回収を行いました。



### 受付

小学生、中学生姉妹のボランティアで写真や動画撮影NGの方への赤リボンの案内。最初は恥ずかしがっていましたが、慣れてくると自分なりの言葉で大きな声で案内していました。



### ホール案内係

大人1名と高校生5名で、トイレ案内、フリースペースへの案内、親子席への案内を行いました。保護者がトイレなどで離れた際に、高校生ボランティアが席に残った子に寄り添って見守る場面も。



### 看護師によるサポート体制

現地の看護師3名に有償で依頼。1名は車椅子入口で、2名は正面受付にて体調確認。万が一コンサート中に体調不良のお客様がした場合の待機場所とAEDの確認、救急搬送までの間の対応をしていただくことを確認。公演中に1名の体調不良者が出て待機場所で対応しましたが、体調回復し、ホール内に戻って鑑賞をつづけることができました。



### その他

高校生ボランティアが、入り口の足拭きマットのテピング(つまづかないように)や出演者控室前の廊下のモップ掛けを提案し、自主的に行動してくれました。終演直後に受付の片付け、お客様が帰った後の片付けを全ボランティアが臨機応変に動きました。



# 「大騒ぎ」しても大丈夫なオーケストラだよ」

と書いてあります！

現地コーディネーター  
安田 澄江さん



## ✦ 公演前インタビュー ✦

離島での公演では、現地在住のコーディネーターの存在が不可欠です。プロジェクトメンバーによる第1回オンラインミーティングで、いかにも人懐っこそうな笑顔を見せた安田澄江さんが、今回のコーディネーター。ウェディングの装飾を生業としている安田さんがプロジェクトに関わるようになったわけは？

**安田** 仕事はウェディングがメインなんですけど、年に数回、地元でイベントも主催していて。いつかオーケストラを呼べないかと思ったことがあり、少人数でも楽器奏者を派遣する音楽会社にたどり着きました。小さなコンサートをしたことがきっかけで「離島公演の力になってほしい」と琉球フィルハーモニックオーケストラの上原玲子さんへとつなげてくれたんです。それが2021年の12月。去年の2022年に向けてのプロジェクトは採択されませんでした。諦めず2023年度に向けてお願いしますとのことで、事務局代表からご連絡いただいた時は緊張しました。

— 離島公演というのは想像以上に難しいんですね。

**安田** 学生時代の元音楽教師へ、離島公演開催のお知らせをかねて挨拶にうかがった時、「僕は10年かかっても呼べなかったなあ」と先生がおっしゃっていました。離島公演がどれだけ難しいのかを改めて実感しました。

— 不安はなかったですか？

**安田** 学生時代、飲食店でのバイト先に来られていた車椅子利用の方の、食事のサポートをしたり、以前の職場でも車椅子利用の方とよく話をする機会がありました。障害がある方に対して不安は1ミリもなくて。ただ、福祉と音楽をテーマにしたオーケストラの初めての離島公演を成功するために必要なことは何か、宮古島の行政に頼るべきサポートは何か、私自身が把握してないことだらけで不安でした。

でも琉球フィル代表と事務局の皆さんが現地視察で宮古島入りされた時、タイトなスケジュールの中、市役所訪問や福祉関連事業所訪問へ同行したのですが、全てが順調に進む様子を目の当たりにし、私が思う不安など1ミリも必要なかったです。

— 準備を進めるなかで、驚いたり意外だったりしたことは？

**安田** 初めてプロジェクト会議に参加し、たくさんの方々が関わっていることに驚きました。私自身全く関わったことのない業種の方々とどういふうに進めていくのか、不安ながらの参加でしたが、皆さんとの顔合わせの中、他の方々の率直な質問のおかげで、同じ疑問を消化でき、すぐに安心できました。何より琉球フィルさんが私のことをしっかり紹介してくださっていたんだと思います。ミーティングを重ねていくうちに、自分が何をすべきか見えてきて、

チームの中にちゃんと入れているんだと実感しました。

— 予約数はこれまでの本島公演の時より多いみたいですね。

**安田** 「もう絶対来たほうがいい！」と、今日もギリギリまで声かけてます。多分思ってるよりも来ると思う。赤ちゃんを連れてきていいよ、泣いてもいいし、途中も出入りできるから、安心して伝えたら、だったら行くという方も結構いました。親御さんは「うちの子、じっとしてられないです」と心配するんだけど、大騒ぎしても大丈夫なオーケストラなんだよと言ってあります！

— 後は開演を楽しみに待つだけですね。

**安田** はい。離島でのフルオーケストラはみんなの夢だと思うので。生の音が細胞に染みるぐらい気持ちがいいだろうと、本当に楽しみです。



これまでのパンフレットでは、会場でヒアリンググループやUDトークのサポートをしている渡久地準さん、音楽療法士の高良幸人さん、当事者のご家族にインタビューしています。



## プログラム

音楽療法士からアドバイスのあった全体の構成→静かな曲から入り盛り上げて、最後は静かに終わる、を基本に今回はオーケストラで演奏するクラシック音楽の名曲を中心にプログラミングしました。  
最初の曲以外は音楽の授業で鑑賞する曲や、日常生活の中で聴く機会の多い曲です。

基本的に公演中の出入りは自由。休憩があると集中力が途切れてしまう人があるので、休憩時間の代わりに15分間のリズム遊びで後半へとつなぎます。

祖父がきっかけで、9歳から三線をはじめ、中学3年で琉球民謡の教師取得。宮古特別支援学校を卒業し、「島唄居酒屋うまりずま」「美ら島歌い」でのライブ演奏やイベント出演している砂川昌太郎さん。本人が宮古島を代表する曲として選曲しました。

毎回ゲーム音楽を演奏する理由としては、子どもたちに馴染みのゲーム音楽を琉球フィルゲーム音楽ディレクターの坂本英城さんと一緒にその素晴らしさをオーケストラ演奏で紹介するため。

会場で元気よく手を挙げた子ども2人が体験しました。



### 1 オーケストラ演奏 前半

F.ディーリアス  
小管弦楽のための2つの小品より「春はじめてのかっこうを聴いて」  
G.ロッシーニ  
序曲「ウィリアムテル」より「スイス軍の行進」  
E.グリーグ  
組曲「ペールギュント」第1組曲より「朝」「オーセの死」「山の魔王の宮殿にて」  
作曲：普久原 恒勇 編曲：永山 善洋  
「芭蕉布」



### 2 リラックスタイムリズム遊び

赤羽 一則  
(琉球フィルハーモニックオーケストラ 客演打楽器奏者)



### 3 ゲスト×オーケストラ

砂川 昌太郎  
宮古民謡 編曲：新垣 雄  
豊年の歌  
はりみず  
漲水のクイチャー 砂川昌太郎さんによる  
「漲水のクイチャー」▶



### 4 オーケストラ演奏 後半

ゲーム音楽ディレクター 坂本 英城  
ゲーム『機動戦士ガンダム「戦場の絆II」』よりメインテーマ



### 5 指揮者体験

A.ドヴォルザーク  
交響曲第8番より 第4楽章

障害のある人たちが興奮した状態で会場を出ないよう、ラストはダイナミックな曲ではなく静かな曲で。

作曲：坂本 龍一  
戦場のメリークリスマス



対象… 障害・難病のある方、ご家族・介助の方、一般

会場… マティダ市民劇場

入場料… 無料

主催… 文化庁

共催… 宮古島市教育委員会

後援… 沖縄県、宮古島市、沖縄県社会福祉協議会、宮古島市社会福祉協議会、(一社)宮古島市文化協会、公益財団法人沖縄県文化振興会、沖縄タイムス社、株式会社宮古新報、株式会社宮古毎日新聞社、宮古テレビ株式会社、株式会社エフエムみやこ

協力… 琉球補聴器 宮古支店、合同会社 龍建

受託・制作… 一般社団法人 琉球フィルハーモニック

### ゆいまーるミュージックプロジェクト 主なメンバー

仲根 建作 (NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会 理事/身体障害当事者)

渡久地 準 (キコエサポートラボ 代表/聴覚障害当事者)

照屋 尚子 (おきなわふくしオンブズマン/障害当事者家族)

島村 聡 (沖縄大学 人文学部福祉文化学科 教授)

宮城 潤 (那覇市若狭公民館 館長)

読谷山こずえ (ソプラノ歌手/視覚障害当事者)

謝花 勇武 (シンガーソングライター/身体障害当事者)

高良 幸人 (児童デイセンターこどもの城ミュージー 所長/音楽療法士)

樋口 貞幸 (社会福祉士/琉球フィルハーモニック 理事)

上原 正弘 (琉球フィルハーモニック 代表理事)

### これまでの美らサウンズコンサート

2019、2020 与那原町観光交流施設アリーナ

2021 与那原町観光交流施設アリーナ、与那原町上の森かなちホール(ライブ配信)

2022 うるまきむたかホール

一般社団法人  
琉球フィルハーモニック

「音楽と共にまちと響きあう」を理念に、プロ演奏家の活動の場として「琉球フィルハーモニックオーケストラ」「琉球フィルハーモニックジャズプレイヤーズ」と、子どもたちの育成の場として「那覇ジュニアオーケストラ」、音楽による子どもの居場所づくりとして「ジュニアジャズオーケストラおきなわ」、さらに「児童デイセンターこどもの城ミュージー」の運営を行っています。



令和5年度障害者等による文化芸術推進事業  
ゆいまーるミュージックプロジェクト



一般社団法人 琉球フィルハーモニック  
〒901-0156 沖縄県那覇市田原1-12-6  
080-6497-8049  
<https://ryukyuphil.org>

